



このたびは、車載用SDレコーダー付ミキサーアンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本機はSDカードに収録されたMP3形式データの再生、及び本機に接続された機器の音声を録音することのできるレコーダーを搭載した車載用ミキサーアンプです。使用する記録媒体はSDカード(別売)です。用途に適した容量のものを別途ご用意ください。

目次

安全上のご注意	2 ~ 4	操作方法	14 ~ 22
免責事項について	4	再生のしかた	14
本機を長期間お使いの場合	4	再生の一時停止のしかた	15
特長	5	曲送り、曲戻しするには	15
設置・使用上のご注意	6	早送り、早戻しをするには	15
準備作業(SDカード)	6、7	リピート機能について	16
SDカードの準備について	6	オートスタート機能について	16、17
MP3音源の準備について	7	録音について	18
データのバックアップについて	7	録音のしかた	19、20
各部の名称と説明(前面)	8	録音時のご注意	20
各部の名称と説明(SDレコーダー部)	9	一曲消去のしかた	21
SDカードの挿入方法	10	フォーマット(初期化)のしかた	22
各部の名称と説明(後面)	11	エラーメッセージの説明	23
相互接続図(例)	11	故障と思う前に	24
取付方法(例)	12	著作権法について	25
プラグの接続について	13	定格	26
強制フェーダー機能について	13	外観寸法図	27
手動起動のしかた	13	保証書	28

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



この記号は注意(危険・警告)を促す内容であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



定期点検を実施する

専門の業者(技術者)による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。



異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解 / 改造はしない

火災の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源の接続をはずして、販売店などにご連絡ください。



SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



異物を入れない / 濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災・感電の原因となります。



配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルをはずす
ショート事故による感電や怪我の原因となります。



車体の重要保安部品に取付けられているボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると制動不能や故障、発火の原因となることがあります。



運転中に複雑な操作はしない
交通事故やけがの原因となります。



運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない
運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。



パイプ、タンク、配線などを傷つけない
車体に穴をあけるとパイプ、タンク、配線などに傷を付けると交通事故や火災の原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



高温部に設置しない
エンジンルームや温風吹き出し口のそばに設置すると、ケーブルが溶けて、火災の原因となります。



水のかかるところへ設置しない
雨や水のかかるところへ設置すると、火災の原因となることがあります。



振動の多い場所や、不安定な場所に設置しない
ゆるみやはずれで落下し、交通事故やけがの原因となることがあります。



正しく配線する
取扱説明書の通りに配線しないと、事故や火災の原因となります。



SDカード挿入口に異物を入れない
火災や感電の原因となることがあります。



廃棄は専門業者に依頼する
燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災やけがの原因となります。



注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



取付ねじはしっかり締める
落下して、交通事故やけがの原因となります。



オ・ディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害

本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害

本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害

本製品の故障または不具合により録音ができなかった場合、生じた損害など

本製品の故障または不具合によりカード内のデータが破損または消去された場合、データの内容の補償

第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

お願い

本機を長期間お使いの場合

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

- ・ 外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記 ~ の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中止)販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

煙りが出たり、こげ臭いにおいや異常な音が出ている。接続コード・コネクタが異常に熱い。または亀裂や傷がある。本機に触れるとビリビリと電気を感じる。電源を入れても音が出ない、その他の異常・故障がある。

特 長

本機は、SDカードを用いたMP3(MPEG Audio Layer-3)音源の再生、録音機能をもった車載用ミキサーアンプです。

1) デジタル圧縮方式を採用

- ・デジタルフォーマットであるMP3方式を採用する事で、CDよりも小さなデータ容量でCDと同等のクリアな音質を実現できます。
- ・音声データがデジタル信号である為カセット等のアナログ機器と比べ、長期間の使用や環境による音質の劣化が無く、いつでも同じ品質のクリアな音声が得られます。

2) SDカードを採用し、様々なメモリ容量に対応

- ・SDカードは多岐分野に用いられている事から、汎用性と入手性を両立し、小容量の16MBから大容量の2GBまでの容量に対応でき様々なニーズに対応できます。
- ・2GBのSDカード使用時には標準的な音質でも30時間程度の長時間再生、録音が可能です。

3) 簡潔な操作と表示

- ・表示と操作を簡素化し、レコーダーの状態や操作をわかりやすく表現しています。機能ごとに割り振られた操作部により、ダイレクトでわかり易い操作を実現しました。音量設定も各入力毎に設定が可能です。

4) 豊富な再生機能

- ・再生には通常の1曲リピート再生に加え、シチュエーションにあわせた豊富な機能を選択できます。SDカードに入っている音源を全曲繰り返し再生する全曲リピート機能(16頁リピート機能について参照)エンジンを切ったときの曲をエンジン作動時に自動的に再生するオートプレイ機能(17頁オートスタート機能について参照)を搭載。
- ・マイク放送時に再生音を減衰させるオートフェーダー機能とあわせて、手動制御により強制的にフェーダーを機能させることが可能です。(13頁強制フェーダー機能について参照)

5) 録音機能を搭載

- ・本機で放送している音声をSDカードに録音ができます。録音データも再生同様MP3フォーマットとなる為、汎用性が高く他のプレーヤーでの再生も容易に行えます。
- ・録音時の音声が適正レベルなのかを、録音待機時に表示されるレベルメーターで確認が可能です。録音過入力に対して保護回路が働くことで録音時の音割れを抑えます。(18頁録音について参照)

6) パソコンとの親和性

- ・FATファイルシステムを採用する事で、パソコンでのファイル操作や移動が容易に行えます。(6頁準備作業参照)

7) 故障が少ない

- ・従来のCDプレーヤーの様に回転する等、機械的な動作を行わない為、磨耗や劣化による故障がありません。
- ・振動、衝撃による音とびがありません。
- ・メンテナンスフリーで、カセットメカやCDプレーヤーの様なヘッドやレンズのクリーニングが不要です。

設置・使用上のご注意

プラグを抜くときはコードを引っ張らない

- ・マイク入力や予備入力のプラグをジャックから抜き取る時は、必ずプラグ本体を持って抜いてください。コードを持って引き抜くと断線やショートの原因になります。雑音が発生する場合は
- ・車載用として十分な雑音防止対策を施していますが、もし雑音が入る場合があれば、カーオーディオ、カーラジオなどの雑音防止処理方法に準じてください。本機の近傍で携帯電話を使わない
- ・本機の近傍で携帯電話を使用しますと、雑音発生の原因になります。本機使用中に携帯電話を使用する場合は充分にご注意ください。

マイクロホンの上手な使い方

マイクロホン使用上、特に注意しなければならないのが、ハウリング(キーンと言う音)です。これはスピーカーから出てきた音が、マイクロホンに戻り、循環することから起る現象です。これを防ぐためには、音源以外の音をとらえにくい単一指向性マイクを使用し、マイクとスピーカーの位置に注意しながら使用してください。

マイクロホンを使用する場合は、極端に口元に近づけたり離したりせず、なるべく一定の距離で使用してください。この距離は、2～5センチメートルぐらいが理想的です。マイクロホンには息をふきかけないように注意して使用してください。

マイクロホンを手で持ち使用する場合は、マイクの頭を手でにぎらないでください。マイクの頭を手でふさぐと低音だけが強調され、忠実な拡声ができませんので、正しくマイクの中央部をにぎってお使いください。

マイクロホンを使用しないときは、マイクロホンのトークスイッチを必ず「OFF」にしてください。

準備作業(SDカード)

SDカードの準備について

本機のご使用にあたってはSDカード(別売)を別途ご用意してください。

用意するにあたって下記の点にご注意ください。

SDカードは、SD規格で使われているロゴタイプ(右記参照)が明示されたものを使用してください。



対応しているSDカードは16MB～2GBです。次頁に録音時間の目安を記載していますので、その中から必要に応じた容量のカードを選択してください。

SDHC(SD High Capacity)規格のSDカードには対応しておりません。

ご使用可能なSDカードについて

一部のメーカーや特定のSDカードで、本機器ではご使用頂けない場合がございます。正常な動作を確認できたSDカードについては、弊社営業所又はお客様相談窓口までお問合せをお願い致します。

SDカードの録音時間のめやす

注) 次のカードは使用できません。

ミニSDカード / SDHCカード / SDXCカード / マイクロSDカード

カードの容量	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
録音時間	約15分	約30分	約1時間	約2時間	約4時間	約8時間	約16時間	約32時間

128kbps (サンプリング周波数44.1kHz)時

- ・ SDカードは本機でフォーマット(初期化)したものをご利用ください。

市販のものをそのまま用いた場合やパソコン等、本機以外の機器でフォーマットを行った場合データが破損したり、正常に録音、再生が行われなくなる恐れがあります。

本機以外のパソコン等でフォーマットを行う場合はSDカードフォーマッター 1をお使いください。(22頁フォーマットのしかた参照)

1 http://panasonic.jp/support/audio/sd/download/sd_formatter.html

miniSDカードやmicroSDカードは使用しないでください。アダプターの仕様により動作しないものがあります。

MP3音源の準備について

音楽などをSDメモリーカードに収録する場合は以下の二つの方法があります。

1 ダイレクト録音(本機での録音)をおこなう

本機に接続された機器で再生される音声を録音する事で本機にMP3形式の音源を作成します。(18頁録音について、19、20頁録音のしかた参照)

2 パソコン等のMP3形式の音源データをSDカードに転送する。

「SDカードの準備について」で用意したSDカードに、MP3形式データを転送してください。転送するにあたって以下の点にご注意ください。

本機はフォルダーやプレイリストには対応していませんのでファイルはフォルダーなどを作らずに転送してください。転送した順に曲番号が付きます。但し本機が認識できる曲番号は99までです。100以上のファイルが入ったSDカードを入れた場合でも認識できる曲番号は99までです。

本機で使用するSDカードはカードへ転送、及び録音した順番で曲番号が付けられます。曲ファイルはその曲番号の順番で再生されます。

MP3データは以下のフォーマットに対応しています。

サンプリング周波数：16kHz～48kHz

ビットレート：32kbps～320kbps

VBR対応(*VBR:可変ビットレート)

サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては正常に再生できない場合があります。

詳しくはパソコン及び関連するアプリケーションなどの説明書をご覧ください。

SDカード内のデータのバックアップについて

SDカードに記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより失われることがあります。失っても困らないように、大切な録音データはパソコンなどにバックアップし、また記憶内容をメモして保存しておいてください。

各部の名称と説明(前面)

フェーダー減衰量調節つまみ

図1 減衰量減 FADER 減衰量増



左回しきり(最小)位置ではフェーダー回路が働いても放送の音量は下がりません。

オートマチックフェーダー回路について
マイク回路にはオートマチックフェーダー機能が備わっています。SD再生中にマイクを使用しますとオートマチックフェーダー回路が動作してSD音量が自動的に減衰します。またマイク放送が終わると自動的に元の音量にもどります。

ただし、本機は出荷時に減衰量を0dBに設定していますので、そのままでは音量は減衰しません。

減衰量はフェーダー減衰量調節つまみで0dB(MIN)～約30dB(MAX)の範囲で調整してください。(図1参照)

予備音量調節つまみ

フェーダーボタン

SD再生中に手でSD音量を減衰させるときにはこのボタンを押してください。再び押すと元の音量に戻ります。減衰量はフェーダー減衰量調節つまみに対応します。

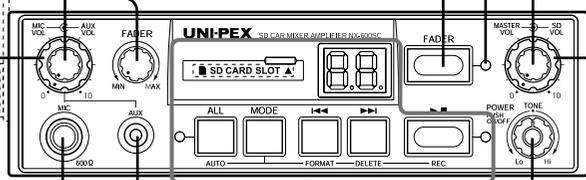
(13頁手動起動のしかた参照)

フェーダー動作表示灯

フェーダー回路が動作状態のときに橙色に点灯します。

主音量調節つまみ

マイク、予備、SDの各音量調節つまみでミキシングされた音量を調節します。



SDレコーダー部
(9頁SDレコーダー部の説明参照)

マイク音量調節つまみ

SD音量調節つまみ

マイク入力ジャック

[オートマチックフェーダー回路付]
(-46dBV、600、電子平衡)
マイクを使用しますと(マイク音量調節つまみが「0」でも)SD音量が自動的に減衰します。詳しくは上記の「オートマチックフェーダー回路について」をご覧ください。

予備入力ミニジャック

(-22dBV、10k、不平衡)
(ステレオ機器対応)
MP3プレーヤーなど外部機器を接続してください。接続には機器に適合する市販のミニプラグ付接続コードをご使用ください。

音質調節/電源スイッチ兼用つまみ

押すと本機の電源が入ります。再び押せば電源が切れます。音質調節はこのつまみを左方向へまわすと高音が減衰されます。

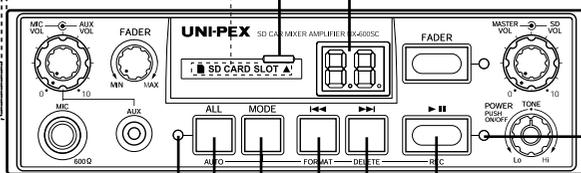
各部の名称と説明(SDレコーダー部)

ダストカバー

ダストカバーをはずしSDカードを挿入してください。挿入後は必ず元どおりにダストカバーを取り付けてください。(10頁SDカードの挿入方法参照)

SDカード挿入口

ダストカバーをはずしSDカードを挿入してください。(10頁SDカードの挿入方法参照)



表示部

操作 / 動作状態を表示します。表示項目の詳細は、操作方法の各項目を参照ください。

再生 / 録音表示灯

再生中に緑色に点灯します。また録音待機状態で赤色に点滅、録音中に赤色に点灯します。(14頁再生のしかた、19頁録音のしかた参照)

全曲リピート表示灯

全曲リピート選択時に橙色に点灯します。(16頁リピート機能について参照)

全曲リピートボタン(オートスタート)

リピート再生の曲数(1曲/全曲)を切り換えます。押すたびに全曲リピート 1曲リピートが交互に切り換わります。全曲リピート選択時は全曲リピート表示灯が点灯します。(16頁リピート機能について参照)

設定ボタン



停止中に設定ボタンを長押し(2秒以上)すると表示部が点滅します。次に 印のボタンを各々押すことにより下記の機能を使用することができます。

ヒント :

- ・設定ボタン長押し後、表示部の点滅状態のときに解除する場合はもう一度設定ボタンを押してください。停止状態に戻ります。

再生 / 一時停止ボタン(録音)

停止中に再生を始める時に押します。再生中に一時停止する時はこのボタンを押します。(14頁再生のしかた参照) 設定ボタン長押し後、録音操作がおこなえます。

スキップ/サーチボタン(一曲消去)

曲(TRACK)の送り選択をするときに押します。演奏中および停止中にこのボタンを一度押しますと次の曲の先頭に移動し、押し続けると(2秒以上)曲を早送りします。設定ボタン長押し後、一曲消去の操作がおこなえます。

スキップ/サーチボタン(フォーマット)

曲(TRACK)の戻り選択をするときに押します。演奏中および停止中にこのボタンを一度押しますと演奏中の曲の先頭に、2度押しますと前の曲の先頭に移動します。また、押し続けると(2秒以上)曲を早戻します。設定ボタン長押し後、フォーマットの操作がおこなえます。

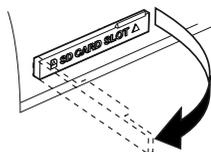
	ボタン(下部表示)	機能	表示	
設定ボタン (長押し)	AUTO	オートスタート	$\square_n \square F$	16頁オートスタート機能について参照
	FORMAT	フォーマット	$F \square$	22頁フォーマットしかた参照
	DELETE	1曲消去	dE	21頁1曲消去しかた参照
	REC	録音	$r \equiv$	19頁録音のしかた参照

SDカードの挿入方法

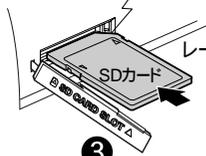
入れかた

すでにSDカードが入っているときは、カードは入れられませんので、無理に入れしないでください。必ず挿入口にカードが入っていないことを確認してからカードを挿入してください。挿入後は必ずダストカバーを取り付けてください。

- ① ダストカバーをはずす



角がカットされた部分を
右前にカードを差し込む



- ② ロックするまで
差し込む

③ ダストカバーを取り付ける

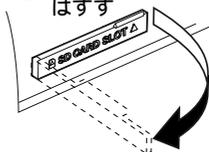
取り出しかた

ご注意 動作中、操作の途中などにSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

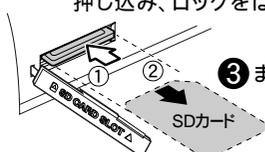
SDカードの取り出しは必ず停止中におこなってください。

取り出した後は必ずダストカバーを取り付けてください。

- ① ダストカバーを
はずす



- ② カードの中央部を
押し込み、ロックをはずす

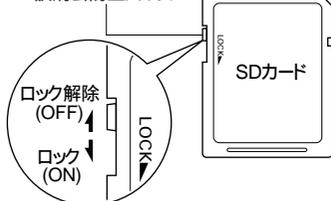


- ③ まっすぐ引き抜く

- ④ ダストカバーを取り付ける

誤消去防止スイッチについて

誤消去防止スイッチ



SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチをロック側にしますと、録音、消去などカードの内容を変更することができません。再生時に誤操作によるデータの消失を未然に防ぐため、このスイッチをロック側にされることをお勧めします。

録音、消去をするときは誤消去防止スイッチのロックを解除してください。ロック側になっていましたと操作を開始しても「Pr」表示後、元の表示に戻り操作はキャンセルされます。

各部の名称と説明(後面)

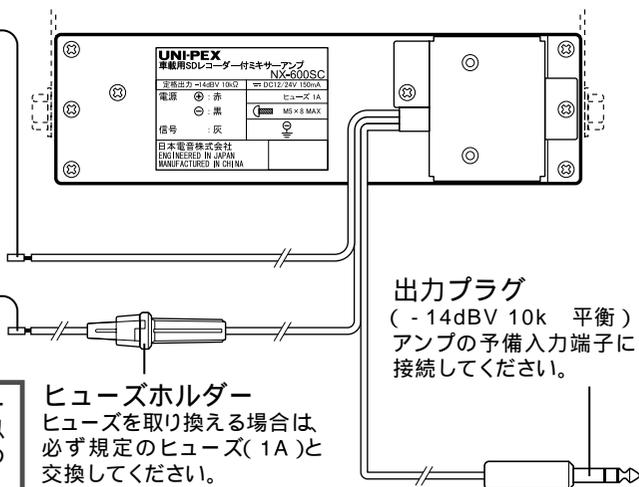
-側電源接続コード(黒)
このコードはバッテリー - 端子に接続するか、最短距離で自動車の車体にアースしてください。なお、車種により金属部の厚みが薄く、プラスチックを多用しているものがよくあります。車体アースする場合は充分注意してください。

+側電源コード(赤)
このコードはバッテリーの+端子に接続してください。

警告 決められたヒューズを使う。規定以外のヒューズを使うと、火災の原因となります。

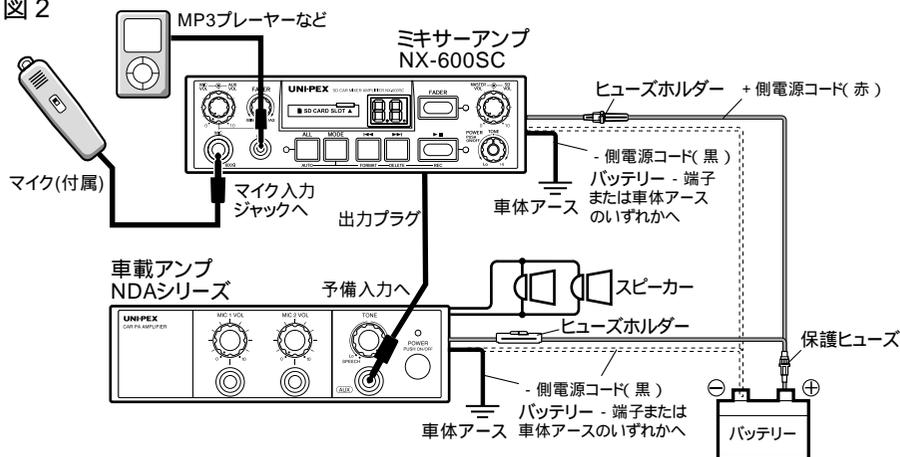
ヒューズホルダー
ヒューズを取り換える場合は、必ず規定のヒューズ(1A)と交換してください。

出力プラグ
(-14dBV 10k 平衡)
アンプの予備入力端子に接続してください。



相互接続図(例)

図 2



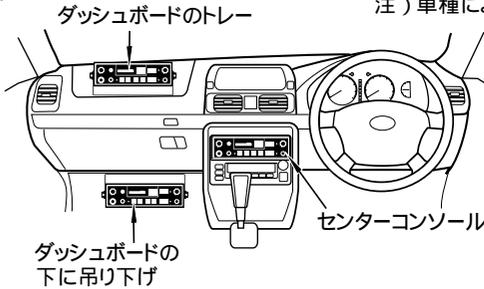
ご注意

バッテリーに接続する電源コードは、被覆の損傷などで短絡や車体に接触すると非常に危険です。電源コードの接続、配線には充分ご注意ください。バッテリーと機器の接続時には、バッテリーの近傍に保護装置(ヒューズ等)を入れていただくと、より安全性の向上を計ることができます。電源コードは、赤が+、黒が-です。逆に接続しますと、ヒューズが断線したり故障の原因となります。

取付方法(例)

本機はカーオーディオの標準規格として幅広く採用されているDIN規格サイズです。取付箇所は車種によって異なりますが、図3のようにセンターコンソール内に組み込んだり、付属のコの字形金具を利用しダッシュボードのトレーや下部に取り付けてご使用ください。(図3、4、5参照)

図3



注) 車種により取り付けられない場合があります。

警告

エアバッグ装着車はエアバッグの装着箇所やその付近に配線しない、取り付けない。エアバッグの作動不良による事故、けがの原因になります。

図4

注) 必ず、水平から30°以内に取り付けてください。

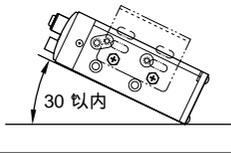
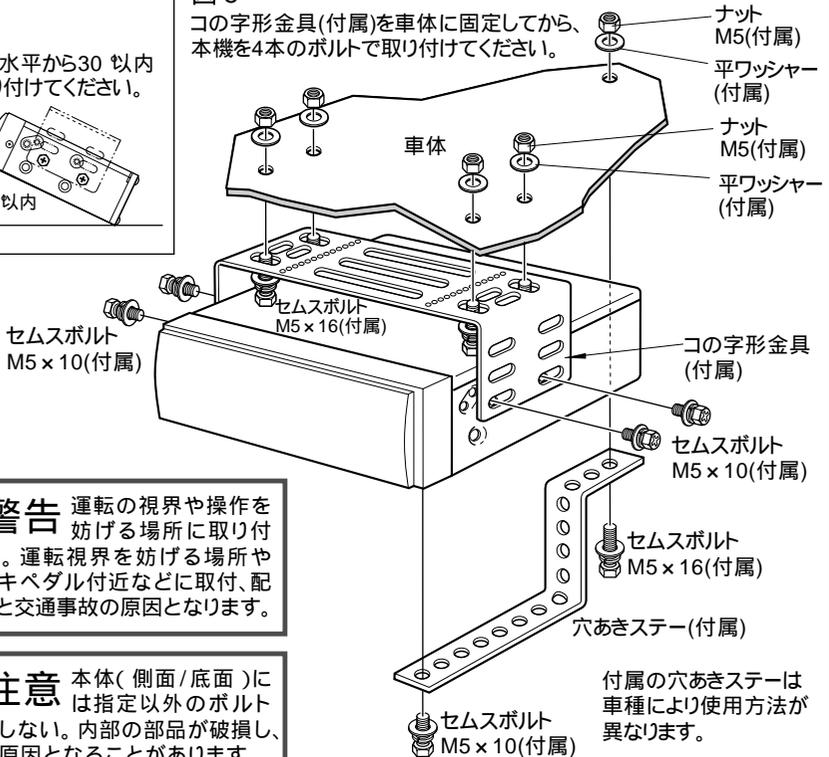


図5

コの字形金具(付属)を車体に固定してから、本機を4本のボルトで取り付けてください。



警告 運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない。運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。

注意 本体(側面/底面)には指定以外のボルトを使用しない。内部の部品が破損し、故障の原因となることがあります。

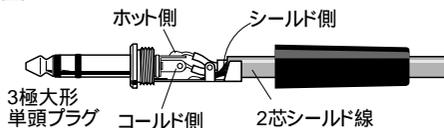
付属の穴あきステーは車種により使用方法が異なります。

プラグの接続について

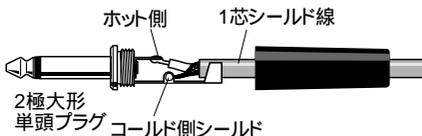
マイク入力

マイク入力ジャックにマイクを接続する場合は出力方式を確認し、接続プラグを平衡、不平衡のいずれかで接続してください。(図6参照)

図6 平衡



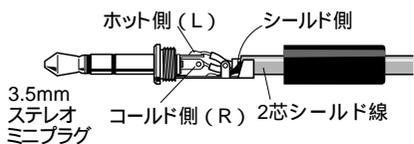
不平衡



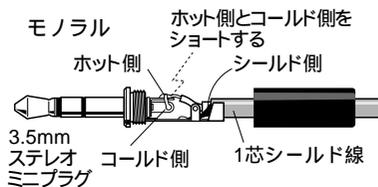
予備入力

予備入力ミニジャックにプレーヤーなどを接続する場合は出力方式を確認し、接続プラグをステレオ、モノラルのいずれかで接続してください。(図7参照)

図7 ステレオ



モノラル



強制フェーダー機能について

本機はマイク入力によって起動するオートマッチフェーダー機能の他に前面のフェーダーボタンを使用して任意のタイミングで強制的にフェーダー回路のON/OFFが可能です。

強制フェーダー機能においても減衰するのはSD音量のみです。フェーダー減衰量はオートマッチフェーダーと共通です。

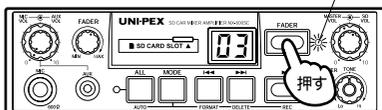
(8頁「フェーダー減衰量調節つまみについて」参照)

手動起動のしかた

1. フェーダーボタンを押す

SD再生中にフェーダーボタンを押しますとSD音量が減衰します。(フェーダー動作表示灯点灯)

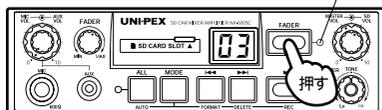
点灯



2. もう一度フェーダーボタンを押す

フェーダー動作中にフェーダーボタンを押しますとSD音量が元の音量に戻ります。(フェーダー動作表示灯消灯)

消灯



操作方法

本機の電源スイッチを入れますと表示部に下図のように表示されます。

SDカードが挿入されている場合

MP3データあり



MP3データなし



SDカードが挿入されていない場合



再生のしかた

再生するときはMP3データの入ったSDカードを本機のSDカード挿入口に入れてください。(6頁準備作業と10頁SDカードの挿入方法参照)

1. 電源を入れる

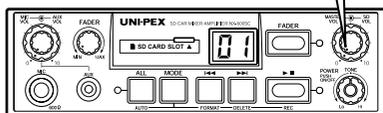
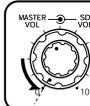
電源スイッチを押して電源を入れ、表示部に曲番が表示していることを確認してください。



曲番を表示

2. 音量を「0」にする

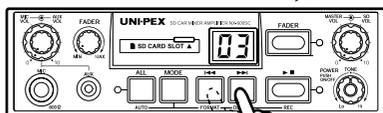
SD音量調節つまみを左いっぱい「0」位置にまわしてください。



3. 選曲する

スキップ/サーチボタンを押して演奏する曲番を選んでください。

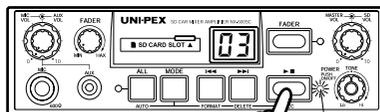
例) 曲番「3」



押す

4. 再生/一時停止ボタンを押す

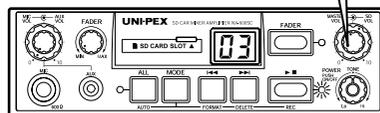
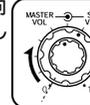
再生/一時停止ボタンを押しますと再生が始まります。



押す 点灯(緑)

5. 音量を調節する

SD音量調節つまみを右方向へまわし適当な音量に調節してください。

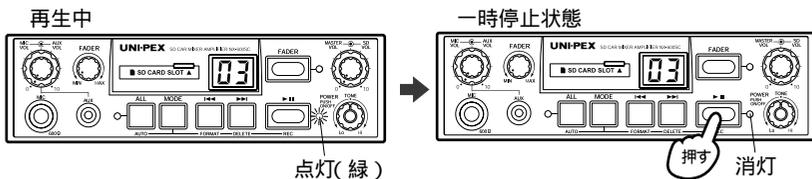


注)必ず主音量調節つまみの調節もおこなってください。「0」位置になっていするとSD音量調節つまみの音量を上げてもSDの再生音は鳴りません。

再生の一時停止のしかた

再生中に再生/一時停止ボタンを押す

再生中に再生/一時停止ボタンを押しますと再生が一時停止します。もう一度押しますと停止した位置から再び再生が始まります。

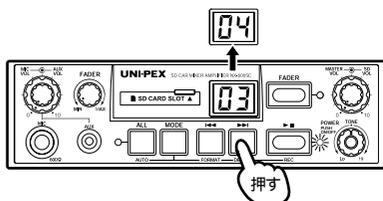


曲送り、曲戻しするには

次の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタンを押す

再生中にスキップ/サーチボタン[▶▶]を押すと次の曲の頭に移動し、演奏を開始します。停止中に押すと次の曲番号が表示が換わります。

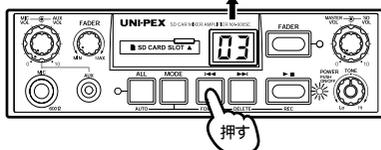


前の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタンを押す

再生中にスキップ/サーチボタン[◀◀]を押すと再生中の曲の頭に戻り、演奏を開始します。続けて2回押すと前の曲の頭に戻り、演奏を開始します。停止中に押すと前の曲番号が表示が換わります。

2回押した場合 前の曲の頭に ◀◀ 03 1回押した場合 曲の頭に戻る

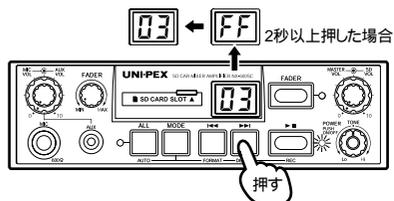


早送り、早戻しするには

曲を早送りするには

スキップ/サーチボタンを押し続ける

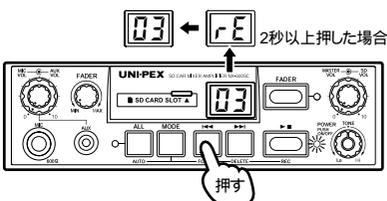
再生中にスキップ/サーチボタン[▶▶]を2秒以上押すと早送りをおこない、離すとその位置から演奏を開始します。



曲を早戻しするには

スキップ/サーチボタンを押し続ける

再生中にスキップ/サーチボタン[◀◀]を2秒以上押すと早戻しをおこない、離すとその位置から演奏を開始します。



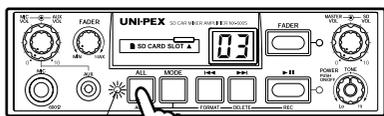
操作方法

リピート機能について

本機の再生は1曲リピートと全曲リピートの2種類のリピート機能が選べます。全曲リピートボタンを押してどちらかをお選びください。(工場出荷状態は1曲リピートに設定) 本機で使用するSDカードはカードへ転送、及び録音した順番で曲番が付けられます。全曲リピート状態では曲番順に再生されます。

リピートの種類の切り換えかた

「全曲リピート」と「1曲リピート」は全曲リピートボタンを押すごとに切り換わりません。全曲リピート表示灯は全曲リピート選択時に点灯し、1曲選択時には消灯します。(再生/一時停止/停止中に切り換え可能)



点灯 押す 全曲リピートボタンを押す

全曲リピート表示灯	リピートの種類
○ □	1曲リピート (今演奏している曲を繰り返し再生します。)
☀ □	全曲リピート (全曲を繰り返し再生します。)

電源を切っても設定は記憶されていますので電源を入れる度に設定する必要はありません。

オートスタート機能について(工場出荷状態は「OFF」に設定)

オートスタート機能「OFF」設定時では電源を切ったときの再生・停止状態に関係なく、再び電源を入れたときは停止状態になります。

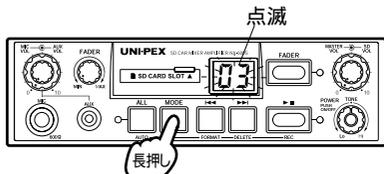
オートスタート機能「ON」設定時では再生中に電源を切った後に再び電源を入れますと再生していた曲の先頭から再生を開始します。また停止状態で電源を切った後に再び電源を入れたときは停止状態になります。

	電源OFF時の状態	次回電源ON時の状態
オートスタート機能 「ON」設定時 	再生中	再生状態
	停止中	停止状態
オートスタート機能 「OFF」設定時 	再生中	停止状態
	停止中	

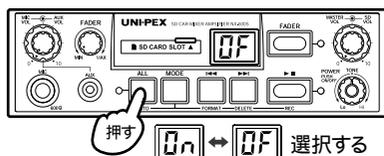
設定の変更は下記の要領でおこなってください。(工場出荷状態はOFFに設定)

注) オートスタート機能の設定を変更するときにSDカードの誤消去防止スイッチがロック状態になっていると、その操作ができません。必ずロック解除状態で設定の変更をおこなってください。

1. 設定ボタンを長押し(2秒以上)する
停止中に設定ボタンを長押ししますと表示部が点滅し設定モードになります。

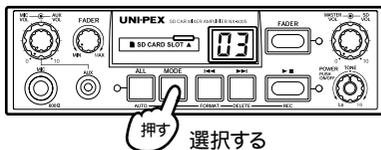


2. 全曲リピートボタンを押す
全曲リピートボタンを押すと表示部の表示「On OF」が切り換り、オートスタート機能のON/OFFが選択できます。



3. 設定ボタンを押して決定する
選択した設定を設定ボタンを押して決定してください。

オートスタート機能の設定は電源を切っても記憶されていますので、電源を入れる度に設定する必要はありません。



オートスタート機能「ON」設定時のご注意



電源を入れる前には音量を最小にする

- 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。特に大音量での再生中に電源を切った後に、音量を下げずに再び電源を入れますと、そのままの大音量で再生を開始しますのでご注意ください。

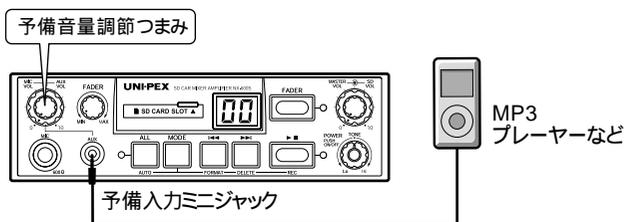
本機は電源を切ったときに再生中の曲番を記憶しています。電源「切」の状態でもカードを入れ替えた場合、同じ曲番のファイルが存在する場合はファイルの内容に関係無く記憶した曲番でオートスタートが実行されます。該当する曲番が存在しない場合はオートスタートは実行されずに停止状態のままになります。

操作方法

録音について

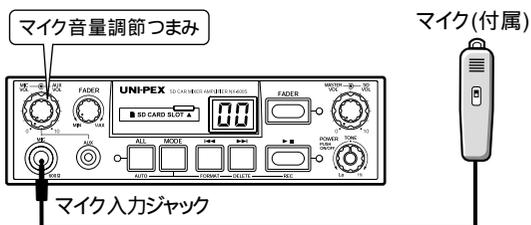
例1) 外部のプレーヤーの音楽を録音する場合

- ・市販の接続コードを使用し、外部のプレーヤーの出力を本機の予備入力ミニジャックに接続してください。(下図参照)録音レベルは本機の予備音量調節つまみで調節してください。



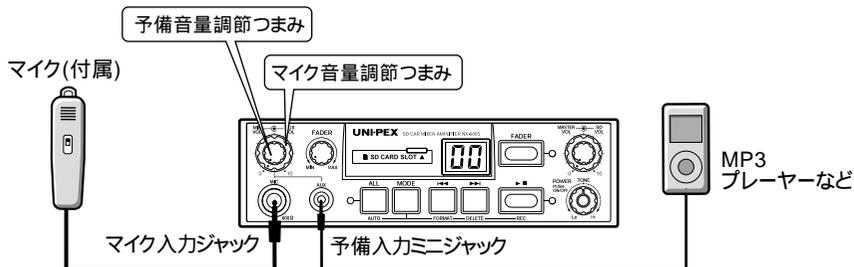
例2) マイク入力のマイク音声を録音する場合

- ・付属のマイクロホンの本機のマイク入力ジャックに接続してください。(下図参照)録音レベルは本機のマイク音量調節つまみで調節してください。



例3) 外部のプレーヤーの音楽とマイク音声をミキシング録音する場合

- ・付属のマイクロホンは本機のマイク入力ジャックに、外部のプレーヤーは市販の接続コードを使用し本機の予備入力ミニジャックに接続してください。(下図参照)録音レベルは本機のマイク音量調節つまみと予備音量調節つまみで調節してください。



録音のしかた

録音するときは録音するための空き容量のあるSDカードを本機のSDカード挿入口に入れてください。（6頁準備作業と10頁SDカードの挿入方法参照）

1.電源を入れる

電源スイッチを押して電源を入れ、表示部に曲番が表示されていることを確認してください。



曲番を表示
(新規録音時は「00」表示)

2.設定ボタンを長押し(2秒以上)する

設定ボタンを長押ししますと表示部が点滅し設定モードになります。

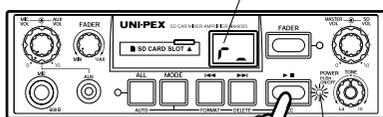


点滅

長押し

3.再生/一時停止ボタンを押す(録音待機)

再生/一時停止ボタンを押しますと録音待機状態になります。



「r」表示

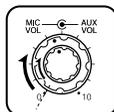
押す

点滅(赤)

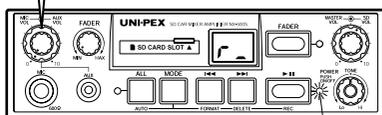
ヒント：

- 録音待機状態を解除する場合は設定ボタンを押してください。停止状態に戻ります。

4.録音レベルを調節する



録音する入力音量調節つまみを右方向へまわし、表示部の録音レベルメーターを見て適当な音量に調節してください。(下図参照)



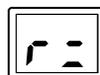
点滅(赤)

録音レベルメーターについて

小

標準

大



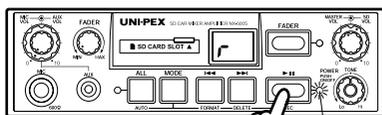
- 録音待機状態で録音音声の音量を3段階表示します。(上図参照)できるだけ標準レベルに合せてからの録音をおすすめします。

ヒント：

- 録音音量は主音量とは無関係ですので、放送中の録音も可能です。

5.再生/一時停止ボタンを押す(録音開始)

再度、再生/一時停止ボタンを押しますと録音が始まります。



押す

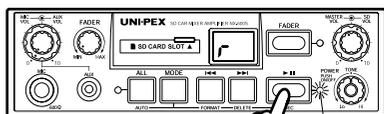
点灯(赤)

操作方法

録音中に一時停止する場合

再生/一時停止ボタンを押す(録音一時停止)

録音中に再生/一時停止ボタンを押しますと録音が一時的に停止します。もう一度押しますと停止した位置から再び録音が始まります。



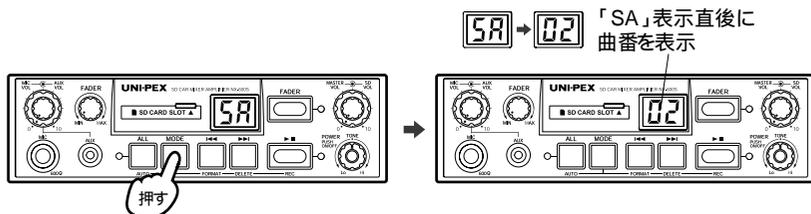
点滅(赤)

ヒント:

- ・ 同じ曲番内に複数の内容を録音する場合は録音を終了させずに、一時停止/録音を必要に応じて繰り返して録音をおこなってください。

6. 設定ボタンを押す(録音終了)

録音待ち状態か録音時に設定ボタンを押しますと録音が終了します。表示部は「SA」が表示された直後に停止状態に戻り、録音した曲ファイルの曲番が表示されます。



録音時のご注意

SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチがロック側になっていますと録音操作は「Pr」表示後、元の表示に戻りキャンセルされます。SDカードを取り出しロックを解除してください。(10頁「誤消去防止スイッチについて」参照)

録音レベルは録音レベルメーターの表示が「標準」を常時示す程度に設定してください。極端に録音レベルが高く、または低くないようにご注意ください。テスト録音をして適正な録音レベルを設定し録音されることをおすすめします。

録音レベルが低い場合、デジタル特有のノイズが録音される場合があります。

録音中、及びその操作の途中でSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中におこなってください。

「SA」表示中に電源を切ったり、SDカードを取り出さないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

録音時に録音する音声が大音量で放送され聴力障害などの原因となる場合があります。主音量を調節した上で録音作業を行ってください。

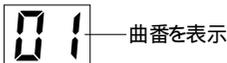
(放送中に内容を録音する場合は除く)

1曲消去のしかた

SDカードへ転送、及び録音した曲の中で、不要な曲のみを消去されるときは下記の要領で消去をおこなってください。

1.電源を入れる

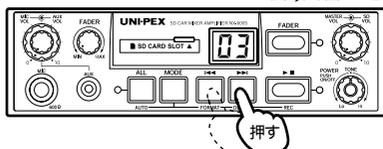
電源スイッチを押して電源を入れ、表示部に曲番が表示されていることを確認してください。



2.曲番を選択する

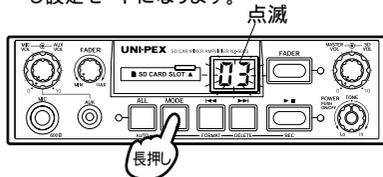
停止状態でスキップ/サーチボタンを押して消去したい曲番を選択してください。

例)曲番「3」



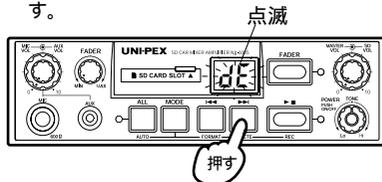
3.設定ボタンを長押し(2秒以上)する

設定ボタンを長押ししますと表示部が点滅し設定モードになります。



4.スキップ/サーチボタンを押す

スキップ/サーチボタン[▶▶]を押すと「dE」が点滅表示されて消去確認状態に換わりま



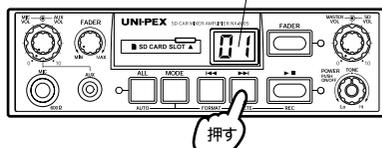
ヒント:

- ・消去確認状態を解除する場合は設定ボタンを押してください。停止状態に戻ります。

5.もう1度スキップ/サーチボタンを押す

スキップ/サーチボタン[▶▶]を押すと「dE」から「01」が表示が変わります。(消去完了)

「dE」から「01」に変わります



ヒント:

- ・消去した曲番のファイルはなくなりますが、その曲番は空白にはなりません。以降の曲番が順番どおりに繰り上がります。

操作方法

フォーマット(初期化)のしかた

SDカードをフォーマット(初期化)されるときは下記の要領で消去をおこなってください。

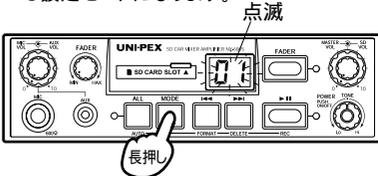
1.電源を入れる

電源スイッチを押して電源を入れ、表示部に曲番が表示されていることを確認してください。



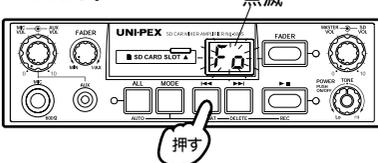
2.設定ボタンを長押し(2秒以上)する

設定ボタンを長押ししますと表示部が点滅し設定モードになります。



3.スキップ/サーチボタンを押す

スキップ/サーチボタン[I◀◀]を押すと「Fo」が点滅表示されてフォーマット確認状態に変わります。



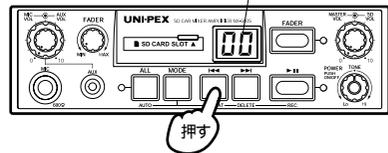
ヒント：

- ・フォーマット確認状態を解除する場合は設定ボタンを押してください。停止状態に戻ります。

4.もう一度スキップ/サーチボタンを押す

スキップ/サーチボタン[I◀◀]を押すと「Fo」から「00」に表示が換わります。(フォーマット完了)

Fo → 00 「Fo」から「00」に表示が変わる



ご注意

消去やフォーマット、及びその操作の途中にSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中におこなってください。

エラー表示の説明

	<p>「 -- 」 内容…SDカードの未挿入 SDカードが挿入されていません。カードを挿入してください。</p>
	<p>「 0 0 」 内容…SDカードにMP3データ無し SDカードにデータが入っていません。録音、またはデータ転送をするか、他のカードと交換してください。ファイル管理されたデータの場合もデータが認識できませんので、この表示になります。</p>
	<p>「 F u 」 内容…SDカードのメモリー残量僅少 SDカードのメモリー残量が僅少、またはデータ数が規定数 を超過しているため録音ができない状態です。不要なデータを消去するか、他のカードと交換して録音してください。(最大99 カード容量、データの総容量などにより99より少なくなる事があります。)</p>
	<p>「 P r 」(録音時)内容…SDカードがロック状態 (設定ボタンの長押し操作不可) SDカードの誤消去防止スイッチがロック状態になっているため録音できません。ロック状態を解除してから録音してください。</p>
	<p>「 P r 」(オートスタート時)内容…SDカードがロック状態(設定ボタンの長押し操作不可) SDカードの誤消去防止スイッチがロック状態になっているためオートスタートの設定変更ができません。ロック状態を解除してから変更してください。</p>
	<p>「 P r 」(消去時)内容…SDカードがロック状態 (設定ボタンの長押し操作不可) SDカードの誤消去防止スイッチがロック状態になっているため消去できません。ロック状態を解除してから消去してください。</p>
	<p>「 P r 」(フォーマット時)内容…SDカードがロック状態 (設定ボタンの長押し操作不可) SDカードの誤消去防止スイッチがロック状態になっているためフォーマットできません。ロック状態を解除してからフォーマットしてください。</p>
	<p>「 E 1 」 「 E 4 」 内容…本機のシステムエラー 本機の電源スイッチを「切」にして再度電源を入れてエラー表示を解除してください。もしエラー表示が消えない場合は販売店や工事店などにご連絡ください。そのときは必ずエラー表示の記号をお伝えください。</p>
	
	<p>「 E 2 」 内容…SDカードのフォーマット形式がFAT32 SDカードのフォーマット形式が合っていません。カードのデータが消滅しても問題のない事を確認し、カードをフォーマットの操作を続けてください。</p>
	<p>「 E 3 」 内容…SDカードの異常 本機の電源スイッチを「切」にして再度電源を入れてエラー表示を解除してください。それでもエラー表示が解除しない場合はカードのデータが消滅しても問題のない事を確認し、カードをフォーマットの操作を続けてください。</p>

故障と思う前に

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

症 状	点 検 項 目	対 策
全く動作しない	電源が接続されていますか。	電源の接続を確認してください。
	表示部が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	バッテリーは充電されていますか。	バッテリーを確認してください。
	電源スイッチが入っていますか。	電源スイッチを入れてください。
マイクの音声がかた くない	各音量調節つまみが絞られていませんか。	各音量を適当な音量に調節してください。
	マイクのトークスイッチが入っていますか	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクプラグは確実に差し込まれていますか。	確認してください。
	マイクは正常ですか。	他のマイクと交換してください。
接続機器の音がゆかしい または小さい	マイク音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	接続機器のインピーダンスは合っていますか。	確認してください。
予備入力に接続した機 器が鳴らない	接続機器及び本機の予備音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	予備出力の機器を接続していませんか。	予備入力はステレオ機器対応の不平衡入力とな っています。不平衡に変換して接続してください。

SDレコーダー部

症 状	点 検 項 目 「 表 示 部 」	対 策
全く動作しない	SDカードが入っていますか。「 - - 」	SDカードを挿入してください。
	SDカードに転送したデータのファイル形式が正しいですか。「E2」	MP3形式データ及び本機で録音した音声データ を使用してください。
	SDカードのフォーマット形式は正しいですか。「E2」	本機でフォーマットしたカードを使用してください。
演奏時間は進んでいる が音声がでてこない	SD音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
SDカードが入らない	すでに本機の中にSDカードが入っていませんか。	SDカードを取り出してください。
	SDカードを裏表逆に入れていませんか。	SDカードのレーベル面を上にして入れてください。
録音ができない	SDカードのメモリー残量が不足していませんか。「Fu」	不要なデータを消去してください。 他のSDカードに交換してください。
	SDカードのファイル数が99を超過していませんか。「Fu」	不要なデータを消去してください。 他のSDカードに交換してください。
録音、消去、フォーマ ット、オートスタートの設 定変更ができない	SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチが ロック側になっていませんか。「Pr」	誤消去防止スイッチのロックを解除してください。
再生音量が不安定で 時々小さくなる。または フェーダー動作表示灯 が勝手に点灯する	マイクのトークスイッチが「入」になっていませんか	本機はマイク音量調節つまみが「0」でもマイクか らの入力でオートフェーダー(P8参照)が働きます。 マイク放送をおこなわない場合はマイクのトークス イッチを切るか、マイクのプラグを抜いてください。

著作権法について

あなたが本機を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集などしたものや、他人の講演などを録音したものは、個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

放送コード、CD、その他の録音物や他人の演奏などは、音楽の歌詞・楽曲と同じく著作権法により保護されています。従って、個人使用の範囲を超えて、それらを録音、編集して、販売・レンタル・譲渡したり、営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

詳しい内容や、著作権物に関する許諾のための手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

定格

使用電源	DC10V ~ 32V(標準14V/28V) 12V/24Vバッテリー マイナスアース専用
消費電流	150mA以下
定格出力	- 14dBV 10k 平衡
ひずみ率	1%以下
周波数特性	200Hz ~ 10kHz ±3dB (1kHz基準)
入力感度及びインピーダンス	マイク: - 46dBV 600 電子平衡 音量調節器付 予備: - 22dBV 10k 不平衡 (ステレオ受け)音量調節器付
信号対雑音比	60dB以上
音質調節	10kHzにおいて - 10dB (1kHz基準)
動作表示	曲番/状態表示(電源表示兼用): 7セグメントLED 2桁表示 再生/録音表示: LED(再生時/録音時/赤) 全曲リピート表示: LED(橙) フェーダー動作表示: LED(橙)
使用温度範囲	- 20 ~ + 60
外装	パネル: ABS樹脂 マンセルN1 近似色 ブラック ケース: 鋼板 マンセルN1 近似色 ブラック
外形寸法/質量	幅178mm 高さ50mm 奥行162mm / 約950g
付属品	取扱説明書(保証書付)1、マイクロホン1、マイクロホンホルダー1、ホルダーあて板1、コの字形取付金具1、穴あきステー1、予備ヒューズ(1A)1、セムスボルト(M5×10)5、セムスボルト(M5×16)5、ナット(M5)5、平ワッシャー(M5用)5、タッピングビス(4×12)2

SDレコーダー部	
適合SDカード	SDA準拠SDカード(16MB ~ 2GB) SDHCは除く
ファイルシステム	FAT12、FAT16
ファイル保存最大数	99(保存は、ルートディレクトリのみ対応)
音声圧縮伸長方式	MP3形式(MPEG1 Audio Layer3)
再生ビットレート	32kbps ~ 320kbps
録音ビットレート	128kbps (サンプリング周波数44.1kHz)

外觀寸法図

(単位mm)

